

保険証等による受診

26年7月末で終了へ

トラブル増加の懸念も

有効期限切れの健康保険証のみを持参した場合でも、必要となる「資格情報のお知らせのみ」で受診する患者が一定いるため、これまで厚労省は当該患者の受診事務連絡を発出した。

7月1日に出された通知の名称は「健康保険証の有効期限終了に伴う今後の医療機関・薬局の受診時等の対応について（周知）」。

従来の健康保険証は24年12月1日以降、新規発行が停止。それまでに発行済の健康保険証は、有効期限内の最長で25年12月1日まで使用できる運用とした。しかし健康保険証の失効を把握しない患者や、本来マイ

ナ保険証と併用した確認が必要となる「資格情報のお知らせのみ」で受診する患者が一定いるため、これまで厚労省は当該患者の受診事務連絡を発出した。

今後の医療機関窓口での資格確認では、基本的にマイナ保険証または資格確認

書で行うことになるため、留意いただきたい。
なお、マイナ保険証をカードリーダーにかざし、オンライン資格確認を行った際、何らかの事情により資格確認できない場合には、以下の対応となる。

①マイナカードと併せて、①マイナポータルの資格確認画面（ダウンロードしたPDFも可）を確認。または②資格情報のお知らせを確認。あるいは③マイナカードで本人であることを確かめ、患者に被保険者資格申立書への記載をしてもらう。その上で不詳レセプトとして請求する。



資格確認
解説ページ

資格確認書の全員交付を協会が要請

横浜市など

県内自治体は応じず

8月以降に「健康保険証の回復、資格確認書全員交付への取り組みとして、神奈川県下の全33自治体および後期高齢者医療広域連合」に「資格確認書の全員交付を求める要請書」を送付

医療情報部はこの間、保

8月以降に「健康保険証の回復、資格確認書全員交付への取り組みとして、神奈川県下の全33自治体および後期高齢者医療広域連合」に「資格確認書の全員交付を求める要請書」を送付

治体の判断」とし、渋谷区等が全員発行している実態、▽マイナカード自体や搭載された電子証明書の期限切れ等、高齢者による対応は困難であることなどを理由に挙げ、資格確認書の全

員発行を求めている。
7月13日時点で、横浜市や横須賀市、厚木市など9市町から回答を受けているが、いずれもコストの面や県内市町村で統一の対応と

後期高齢で8月から
新運用

資格確認書の「全員一律交付」はこの間、後期高齢

「今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）」の意向性として、原子力発電の将来像を2040年代・2050年代で2割相当と仮定している。

公害環境対策部は、原子力発電所による発電量が「2040年代に0割相当」とする方向性に基づき、行動指針を提案し、7月9日で締め切られている。

満であるので、支払能力を超える窓口負担の増加と言わざるを得ない。これでは応能負担にはならない。今後の医療運動の方向性として、「高齢者の声を集める必要がある」という意見が出された。

今理事会の重要決定事項である、以下の2議題について審議・決定された。一つ目は8月以降の事務局の電話対応について、事務局の他の仕事に

市町村国保ではマイナ保険証の登録がない人に対し「資格確認書」が職権交付されているが、マイナ保険証を持っている被保険者には基本的には職権交付されず、代わりに「資格情報のお知らせ」が届けられる運用となっている。

こうした中でも顔認証付きカードリーダーを用いたオンライン資格確認システムが故障し、マイナ交付が不能となった医療機関からの報告が協会に寄せられた。

た。今後も高齢者が「資格情報のお知らせ」を常に携帯していたり、マイナポータル画面を表示させたりできるか不安な運用が続く。

緊迫化する国際情勢下、イランとイスラエルは双方が核施設の所在地を攻撃したことを踏まえれば、原子力施設の停止は急務、▽柏崎刈羽原発の不具合や一時停止多発を鑑み、安全性対策への懸念は払拭できない、▽浜岡原発でのデータ不正問題とその対応をはじめ、原発運営主体者の責任や能力を厳しく検証する制度が確立されていないと指摘。第七次エネルギー基本計画にある『安全神話』に陥って悲惨な事態を防ぐことができなかったという反省を一時たりとも忘れてはならない」との記載を本

割く時間を確保するため、現在の9時30分から16時までの対応を継続することに決定した。二つ目は機軸理事退任に伴う対応について、後任の理事を選出するかについて話し合われたが、9月の評議員会で承認を受けてから来年5月までの8カ月しか任期が無いことを鑑みて、今回は見送ることに決定した。

理事会だより

第32期第19回理事会 7月9日（木）
〈役員28名、出席22名（うちWEB9名）〉

【議長報告】

現在、政府の社会保障費削減政策の下に高額療養費上限の引き上げ、高齢者の窓口負担3割、O

TC類似薬の一部保険外など数々の患者負担増が計画されている。情勢

討論にて、本会では「患者負担ゼロ」を目指す運動を繰り広げてきたが、このような政府の政策に

対してどのようにに対抗するかをテーマに話し合われた。現在75歳以上の約7割が年収200万円未

終戦から81年。戦争は実体験として語れる世代は急速に少なくなり、歴史の中の出来事として遠ざかりつつある。しかし世界は今、「戦時の日常化」とも言うべき時代に入っている。

ウクライナでの戦争は長期化し、ガザでは深刻な人道危機が続く。そして中東で新たな軍事衝突

に犠牲となり、病院そのものが攻撃対象となることだ。さらに深刻なのは、国内にも及んでいる。エ

核保有国を含む大国が国際法や国連決議を軽視する形で軍事行動に踏み切

り、それを既成事実化しようとする動きが、もはや例外ではなくなりつつあることだ。「力による進められてきた経緯があり、緊急事態条項についても十分な国会審議を経

ていくことを、私たちは見過ごしてはならない。現行憲法は、先の戦争への深い反省の上に生まれた。その条文を丁寧に読むと、個人の尊厳、平和への希求、戦争の放棄という理念が、いかに真

剣に刻み込まれているかがわかる。憲法改正の議論が進む中、今ある憲法が何を守ろうとしているのかを、あらためて確認すべきではないか。

一方、地域医療や介護の現場は深刻な疲弊の中にある。診療報酬抑制の

に、あらためてそのことを考えたい。

（議長・鈴木 寛）

主張

終戦記念日を前に

私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ

を、私たちは直視せざるを得ないのではないかと憂慮する。民主主義の根幹は、国民の代表が議論を尽くして物事を決めることにある。「緊急や」「有事」を理由にその過程が省かれ